

訪日外国人旅行者の受入環境整備

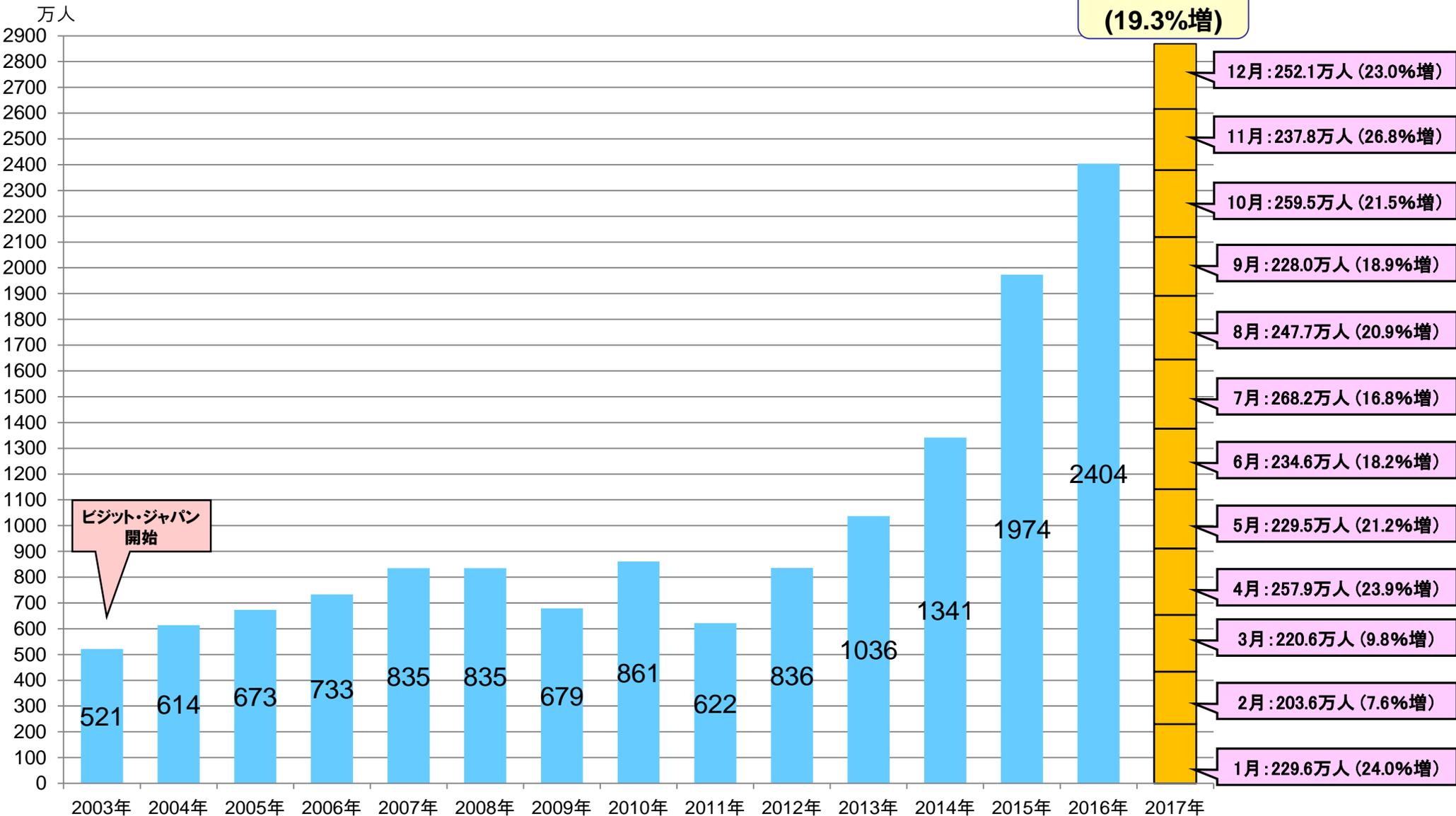


平成30年1月31日
中部運輸局 観光部



訪日外国人旅行者の動向

訪日外国人旅行者数の推移

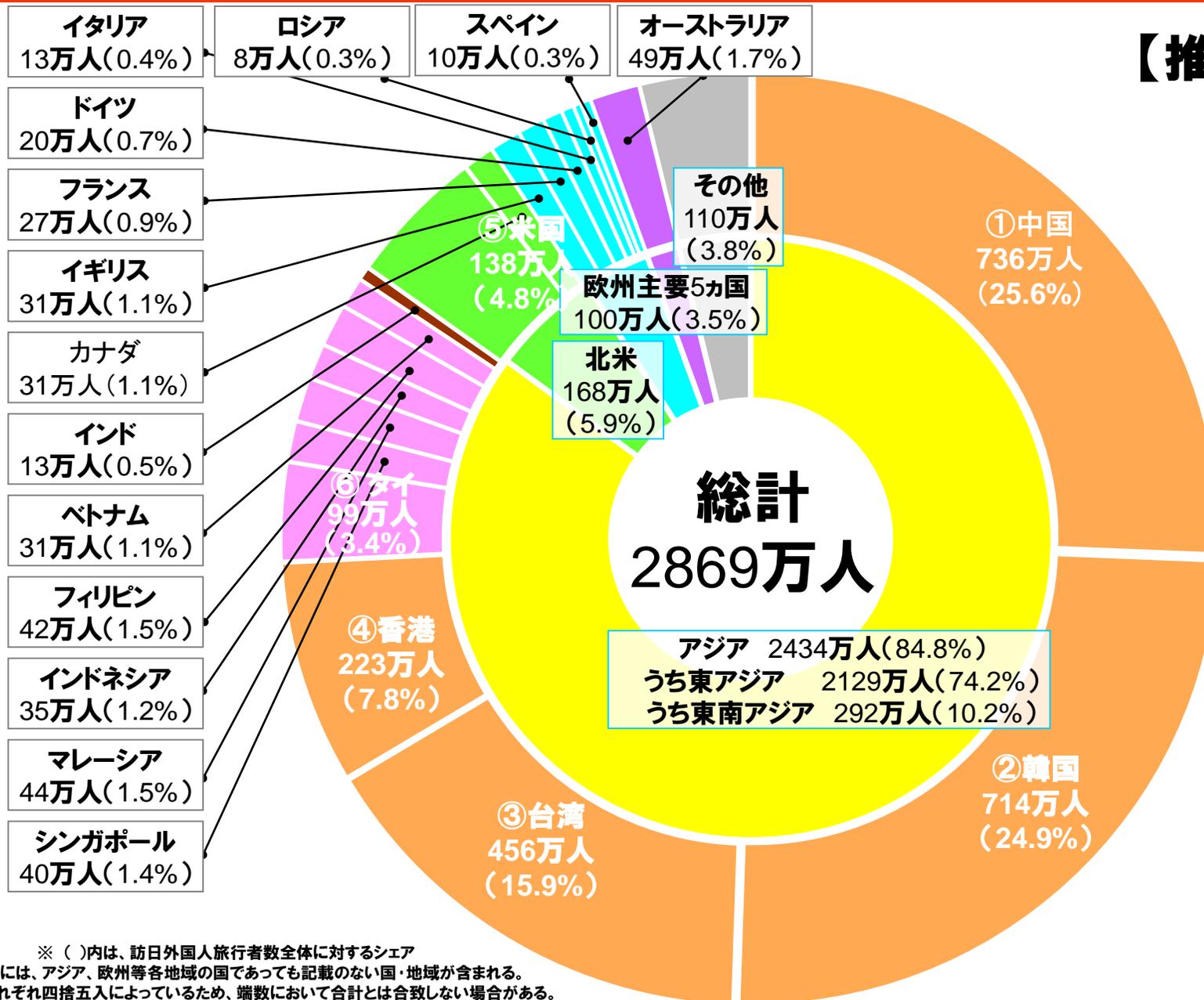


注) 2016年の値は確定値、2017年1~10月の値は暫定値、2017年11~12月の値は推計値、%は対前年同月比

出典: JNTO(日本政府観光局)

2017年の訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別)

【推計値】



※ ()内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア

※ その他には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。

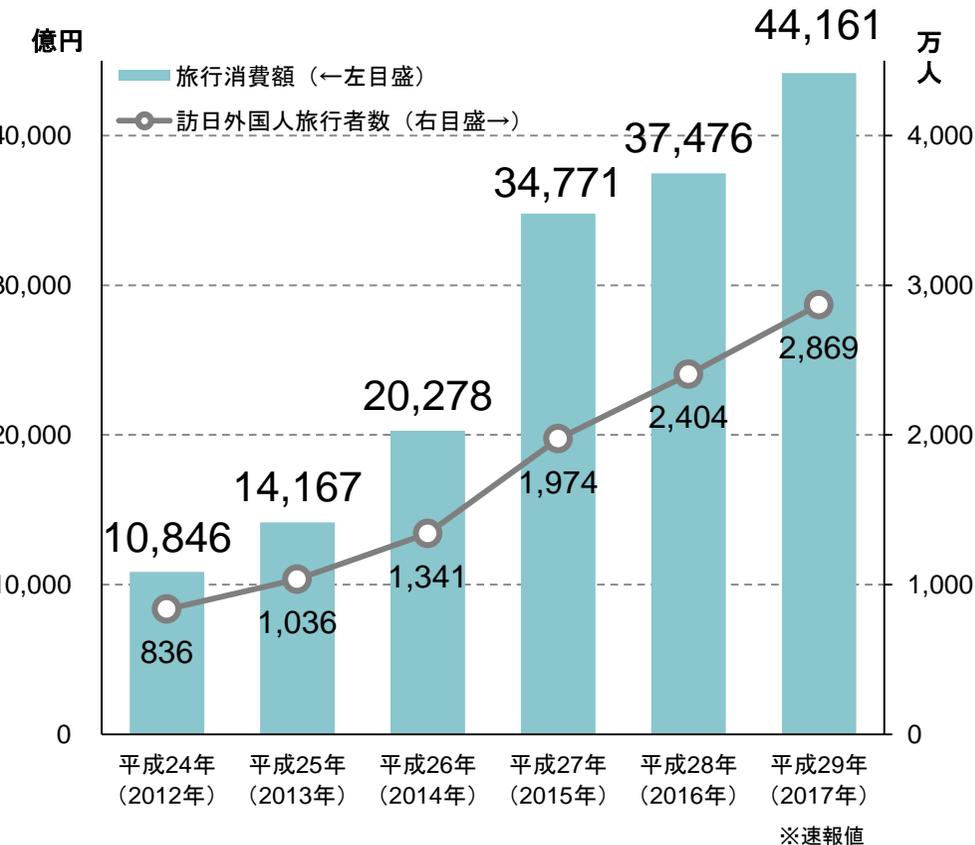
※ 数値は、それぞれ四捨五入にしているため、端数において合計とは合致しない場合がある。

※ 日本政府観光局(JNTO)資料より観光庁作成

2017年(H29)の訪日外国人旅行消費額

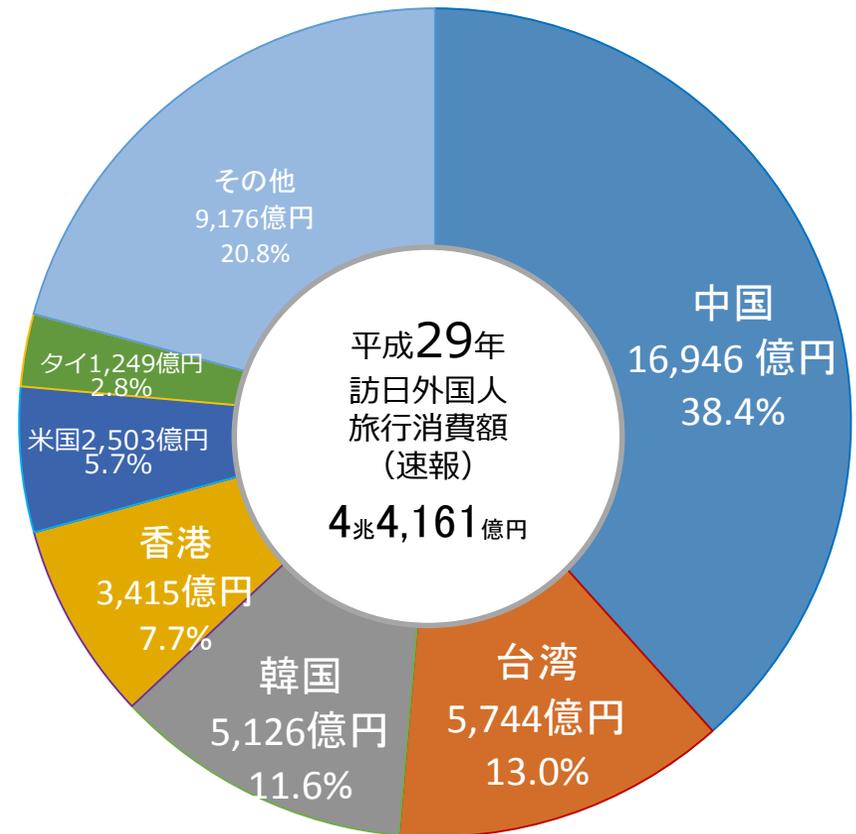
- 昨年の訪日外国人旅行消費額は、前年比17.8%増の4兆4,161億円となり、過去最高となった。
- 国籍・地域別に旅行消費額をみると、中国が全体の4割を占め、次いで、台湾、韓国、香港、米国の順となっており、これら上位5カ国で全体の4分の3以上を占めている。

旅行消費額と訪日外客数の推移



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局(JNTO)

国籍・地域別の訪日外国人旅行消費額と構成比



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

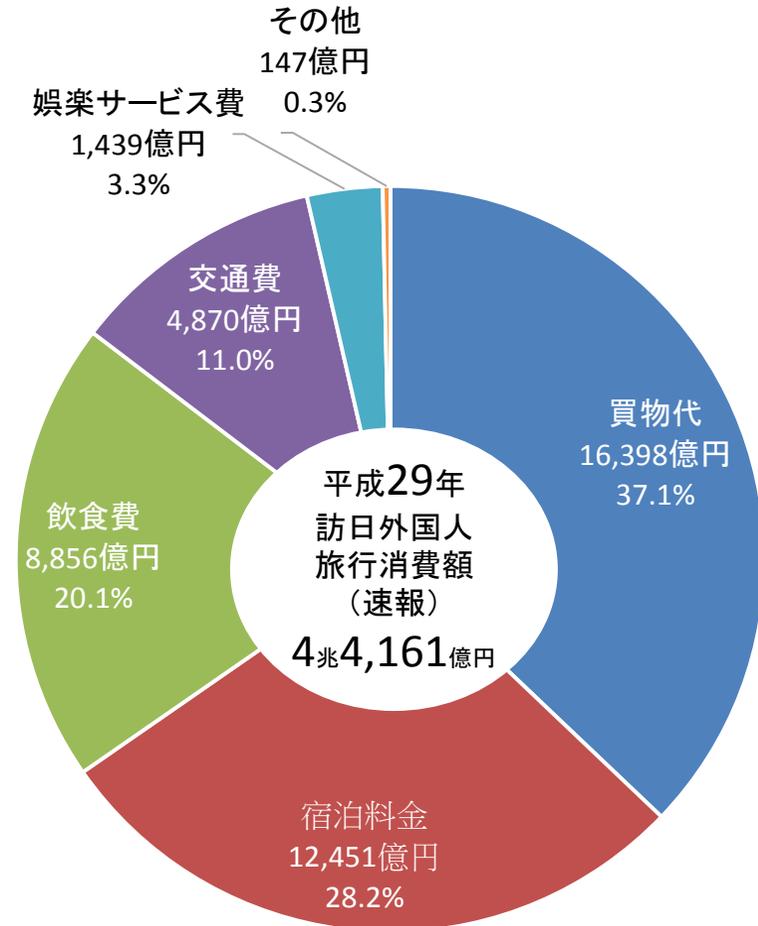
費目別訪日外国人旅行消費額（2017年速報値）

- 2017年の訪日外国人旅行消費額(速報値)の内訳を見ると、買物代が最も多い。
- 買物代の支出額は中国が1人あたり119,319円と最も高い。

【費目別1人当たり旅行支出】

国籍・地域	訪日外国人旅行者1人当たり旅行支出 (円/人)						
	旅行支出 総額	宿泊料金	飲食費	交通費	娯楽 サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	153,921	43,397	30,869	16,974	5,014	57,154	513
韓国	71,795	22,378	18,435	7,492	3,665	19,530	294
台湾	125,847	32,939	26,004	14,286	4,458	47,846	314
香港	153,055	42,690	33,129	17,586	4,628	55,017	5
中国	230,382	47,690	38,285	18,295	5,550	119,319	1,243
タイ	126,570	36,957	23,281	14,696	4,107	47,316	212
シンガポール	164,280	63,083	33,308	19,005	4,414	44,349	120
マレーシア	135,749	42,532	28,261	21,106	4,508	39,302	39
インドネシア	129,397	42,593	23,085	22,188	5,098	36,432	1
フィリピン	113,660	31,470	23,765	13,366	5,405	39,654	0
ベトナム	183,229	48,861	43,313	16,381	2,371	72,303	0
インド	157,443	69,506	31,212	21,874	3,268	31,583	0
英国	215,393	97,303	51,289	32,390	6,811	27,600	0
ドイツ	182,206	81,933	39,036	27,867	4,245	29,125	0
フランス	212,443	86,882	45,016	38,882	8,142	33,401	120
イタリア	191,484	86,746	39,658	35,970	5,634	23,312	163
スペイン	212,572	77,940	49,079	45,484	7,166	32,792	112
ロシア	199,220	63,118	41,494	24,903	9,073	60,513	121
米国	182,071	76,719	41,791	28,477	6,603	28,071	411
カナダ	179,529	71,954	41,757	30,316	7,096	28,316	91
オーストラリア	225,866	89,065	50,070	35,380	14,094	37,199	59
その他	212,751	82,833	46,901	35,299	6,967	39,795	956

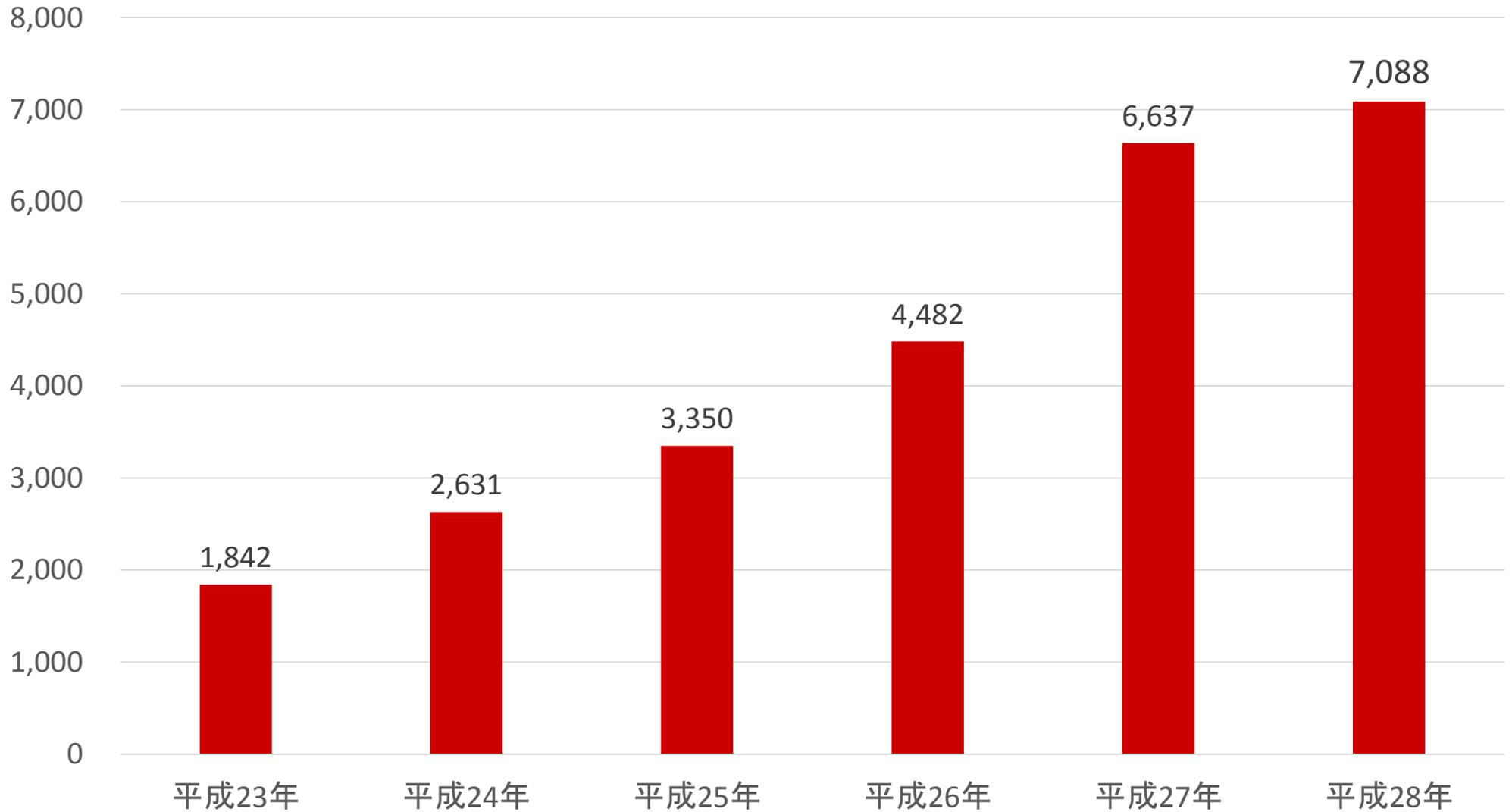
【2017年 費目別旅行消費額】



出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」(2017年 年間速報値)

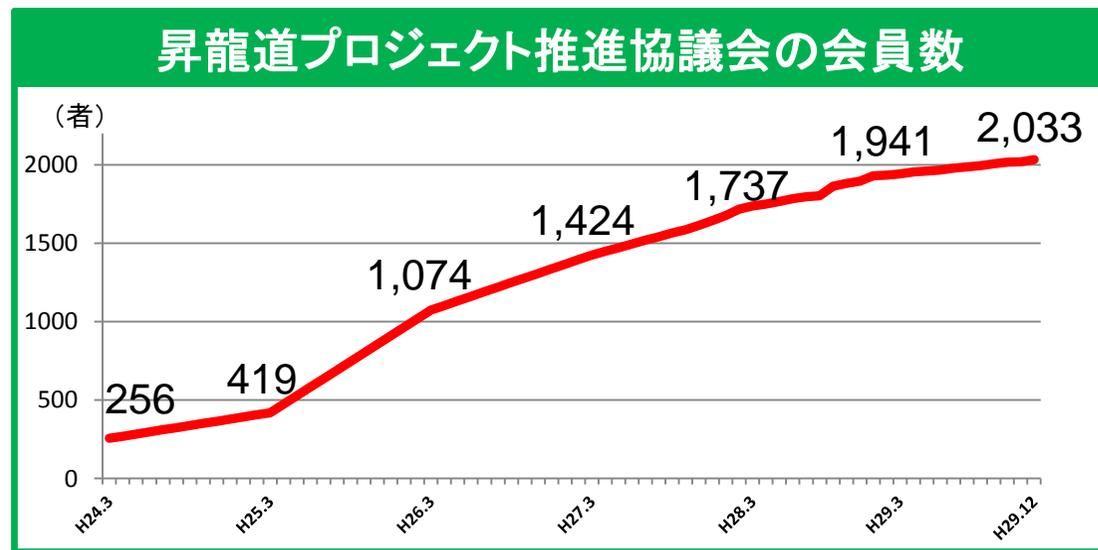
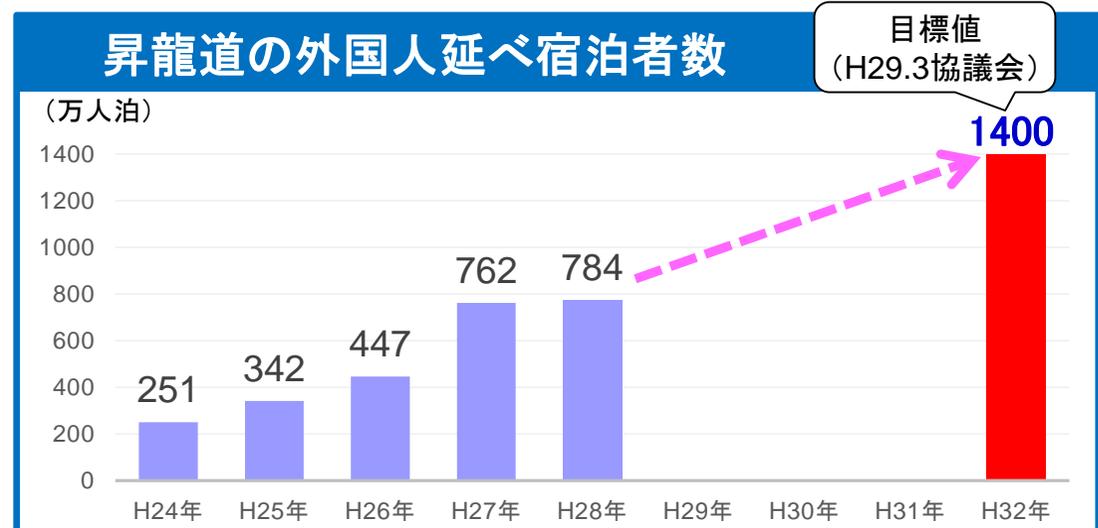
外国人延べ宿泊者数の推移

(単位:万人泊)

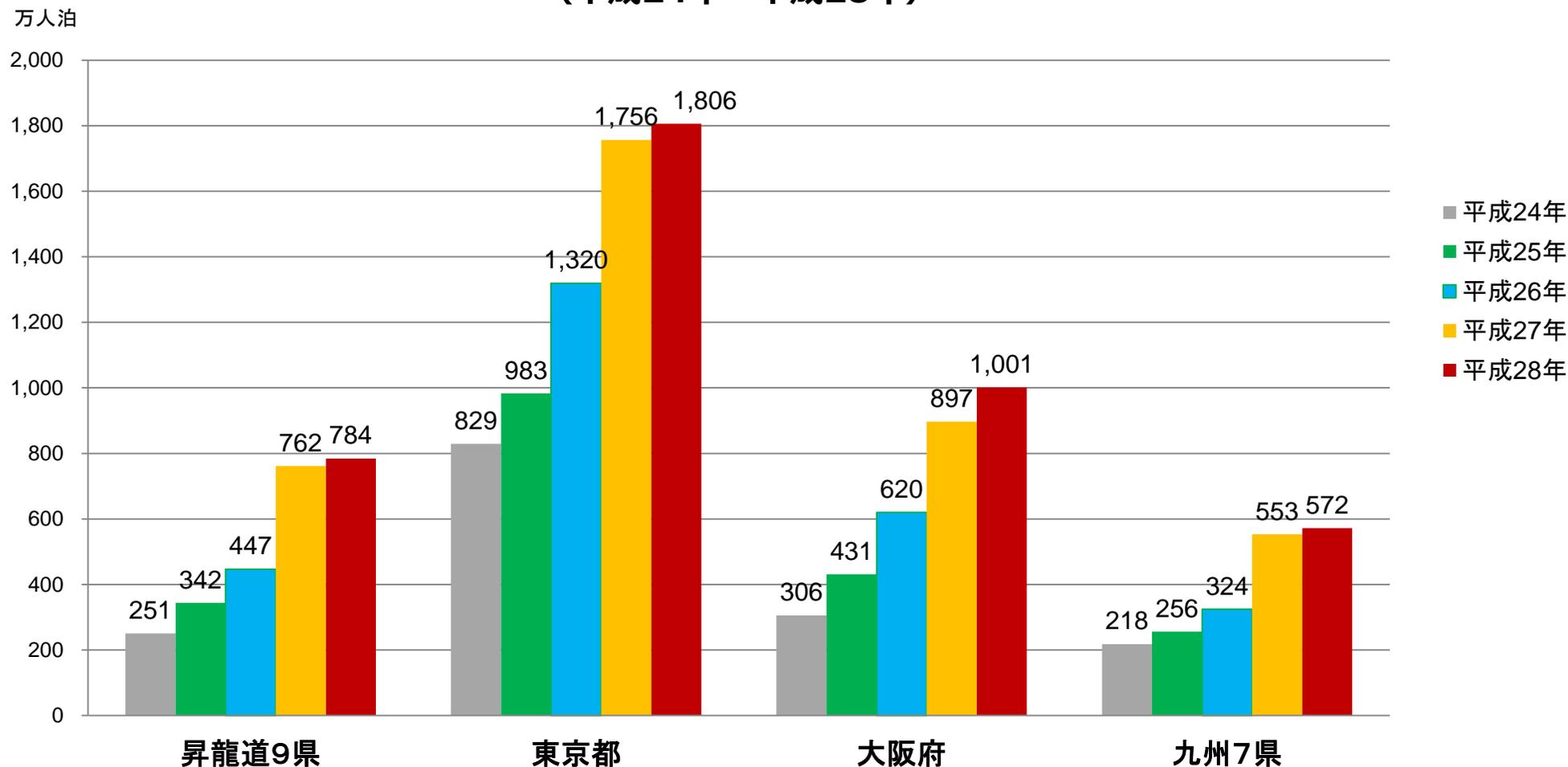


出典:観光庁「宿泊旅行統計調査」

訪日外国人旅行者の増加を図るため、
中部北陸9県の産官が広域的に連携



昇龍道9県と他都市との外国人延べ宿泊者数の比較 (平成24年～平成28年)



※観光庁「宿泊旅行統計調査」による

2016年(H28)・2017年(H29)の1月から10月までの比較

単位：万人泊

県 別	①全宿泊者数			②外国人宿泊者数			外国人比率	
	平成28年	平成29年	伸び率	平成28年	平成29年	伸び率	平成28年	平成29年
富 山 県	293	307	4.8%	19	25	26.7%	6.6%	8.0%
石 川 県	729	713	-2.2%	53	61	14.0%	7.3%	8.5%
福 井 県	307	297	-3.1%	5	6	25.2%	1.5%	1.9%
長 野 県	1,550	1,567	1.1%	97	110	13.7%	6.3%	7.0%
岐 阜 県	538	503	-6.6%	87	77	-11.3%	16.2%	15.4%
静 岡 県	1,793	1,723	-3.9%	140	124	-11.5%	7.8%	7.2%
愛 知 県	1,382	1,466	6.1%	206	217	5.5%	14.9%	14.8%
三 重 県	772	684	-11.5%	31	22	-27.5%	4.0%	3.3%
滋 賀 県	405	368	-9.1%	41	31	-24.0%	10.2%	8.5%
中部管内計	4,793	4,673	-2.5%	469	447	-4.7%	9.8%	9.6%
昇龍道9県計	7,769	7,628	-1.8%	680	674	-0.9%	8.7%	8.8%
全 国	41,324	41,796	1.1%	5,872	6,533	11.3%	14.2%	15.6%

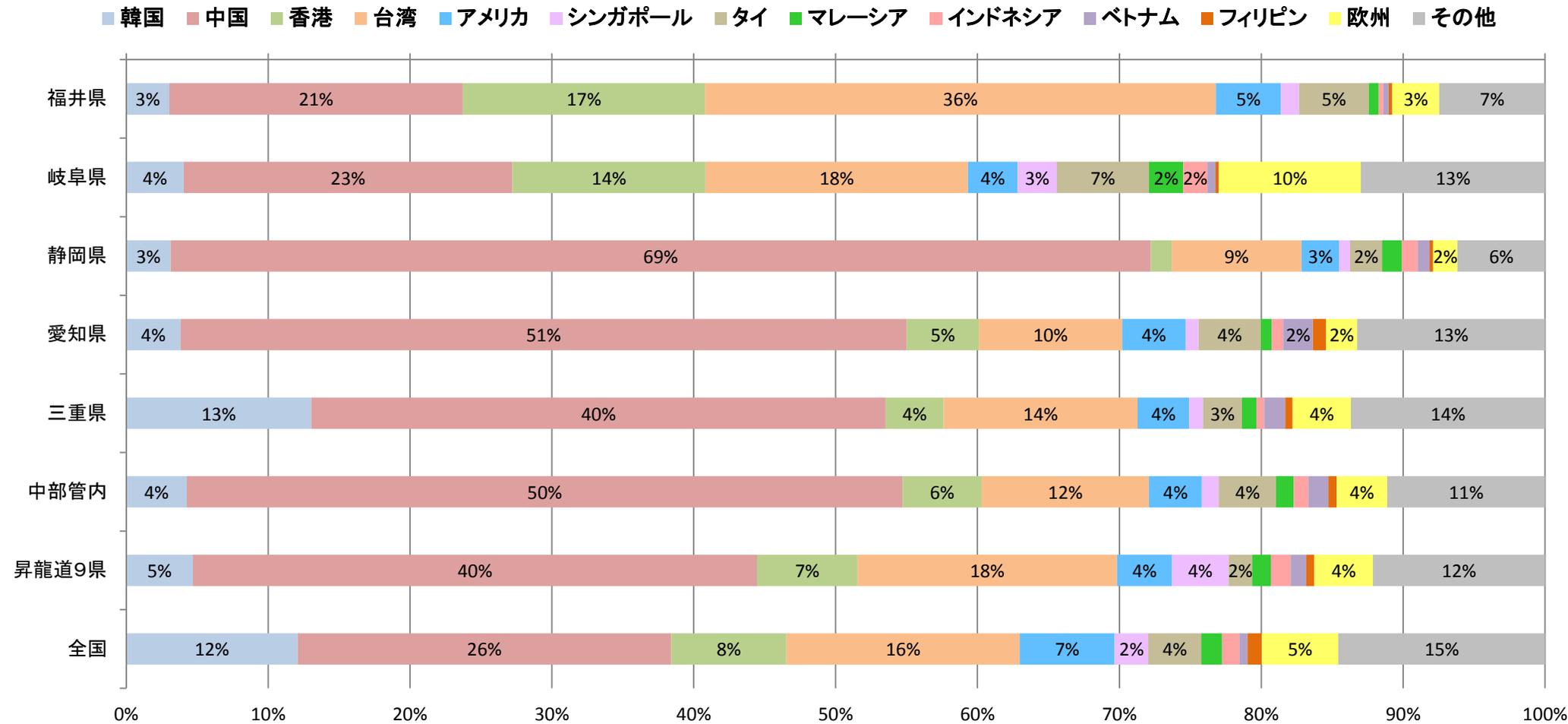
※観光庁「宿泊旅行統計調査」平成29年8月第2次速報による。

※従業者数10人未満の施設を含む。

※端数処理の関係で合計値及び割合が異なることがある。

国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数構成比

2016年(H28) 1月～12月



※観光庁「宿泊旅行統計調査」平成28年確定値による。
 ※従業者数10人以上の施設のため、合計値が一致しない場合がある。
 ※構成比数値の2%未満は記載を省略している。

国の観光政策

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議

訪日外国人旅行者数2000万人の目標達成が視野に入ってきたことを踏まえ、次の時代の新たな目標の設定とそのために必要な対応の検討を実施。

- 【議長】 内閣総理大臣
【副議長】 内閣官房長官、国土交通大臣
【構成員】 副総理兼財務大臣、地方創生担当大臣、一億総活躍担当大臣、総務大臣、法務大臣、外務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣
(民間有識者)
石井 至 石井兄弟社(旅行ガイド出版社)社長
井上 慎一 Peach Aviation(株)代表取締役CEO
大西 雅之 鶴雅グループ代表
小田 真弓 旅館 加賀屋 女将
唐池 恒二 九州旅客鉄道(株)会長
デービッド・アトキンソン 小西美術工藝社社長
李 容淑 大阪国際大学客員教授



〈議長：安倍内閣総理大臣〉

明日の日本を支える観光ビジョン構想会議 ワーキンググループ

- 【座長】 内閣官房長官
【座長代理】 国土交通大臣
【構成員】 内閣官房副長官、内閣総理大臣補佐官
内閣官房副長官補、関係省庁局長 等



〈座長：菅内閣官房長官〉

平成28年3月30日 「明日の日本を支える観光ビジョン」を策定

安倍内閣3年間の成果

戦略的なビザ緩和、免税制度の拡充、出入国管理体制の充実、航空ネットワーク拡大など、**大胆な「改革」**を断行。

	(2012年)	(2015年)
・ 訪日外国人旅行者数 は、 2倍増 の 約2000万人 に	836万人	⇒ 1974万人
・ 訪日外国人旅行消費額 は、 3倍増 の 約3.5兆円 に	1兆846億円	⇒ 3兆4771億円

新たな目標への挑戦！

訪日外国人旅行者数

2020年：	4,000万人 (2015年の約2倍)	2030年：	6,000万人 (2015年の約3倍)
--------	-------------------------------	--------	-------------------------------

訪日外国人旅行消費額

2020年：	8兆円 (2015年の2倍超)	2030年：	15兆円 (2015年の4倍超)
--------	---------------------------	--------	----------------------------

地方部での外国人延べ宿泊者数

2020年：	7,000万人泊 (2015年の3倍弱)	2030年：	1億3,000万人泊 (2015年の5倍超)
--------	--------------------------------	--------	----------------------------------

外国人リピーター数

2020年：	2,400万人 (2015年の約2倍)	2030年：	3,600万人 (2015年の約3倍)
--------	-------------------------------	--------	-------------------------------

日本人国内旅行消費額

2020年：	21兆円 (最近5年間の平均から約5%増)	2030年：	22兆円 (最近5年間の平均から約10%増)
--------	---------------------------------	--------	----------------------------------

これまでの議論を踏まえた課題

平成28年3月30日策定

■ 我が国の豊富で多様な観光資源を、誇りを持って磨き上げ、その価値を日本人にも外国人にも分かりやすく伝えていくことが必要。

■ 観光の力で、地域の雇用を生み出し、人を育て、国際競争力のある生産性の高い観光産業へと変革していくことが必要。

■ CIQや宿泊施設、通信・交通・決済など、受入環境整備を早急に進めることが必要。
■ 高齢者や障がい者なども含めた、すべての旅行者が「旅の喜び」を実感できるような社会を築いていくことが必要。

「観光先進国」への「3つの視点」と「10の改革」

視点 1

「観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に」

- **「魅力ある公的施設」を、ひろく国民、そして世界に開放**
 - ・赤坂や京都の迎賓館などを大胆に公開・開放
- **「文化財」を、「保存優先」から観光客目線での「理解促進」、そして「活用」へ**
 - ・2020年までに、文化財を核とする観光拠点を全国で200整備、わかりやすい多言語解説など1000事業を展開し、集中的に支援強化
- **「国立公園」を、世界水準の「ナショナルパーク」へ**
 - ・2020年を目標に、全国5箇所の公園について民間の力も活かし、体験・活用型の空間へと集中改善
- **おもな観光地で「景観計画」をつくり、美しい街並みへ**
 - ・2020年を目途に、原則として全都道府県・全国の半数の市区町村で「景観計画」を策定

視点 2

「観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に」

- **古い規制を見直し、生産性を大切にする観光産業へ**
 - ・60年以上経過した規制・制度の抜本見直し、トップレベルの経営人材育成、民泊ルールの整備、宿泊業の生産性向上など、総合パッケージで推進・支援
- **あたらしい市場を開拓し、長期滞在と消費拡大を同時に実現**
 - ・欧州・米国・豪州や富裕層などをターゲットにしたプロモーション、戦略的なビザ緩和などを実施
 - ・MICE誘致・開催の支援体制を抜本的に改善
 - ・首都圏におけるビジネスジェットの受入環境改善
- **疲弊した温泉街や地方都市を、未来発想の経営で再生・活性化**
 - ・2020年までに、世界水準DMOを全国100形成
 - ・観光地再生・活性化ファンド、規制緩和などを駆使し、民間の力を最大限活用した安定的・継続的な「観光まちづくり」を実現

視点 3

「すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に」

- **ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現**
 - ・世界最高水準の技術活用により、出入国審査の風景を一変
 - ・ストレスフリーな通信・交通利用環境を実現
 - ・キャッシュレス観光を実現
- **「地方創生回廊」を完備し、全国どこへでも快適な旅行を実現**
 - ・「ジャパン・レールパス」を訪日後でも購入可能化
 - ・新幹線開業やコンセッション空港運営等と連動した、観光地へのアクセス交通充実の実現
- **「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現**
 - ・2020年までに、年次有給休暇取得率70%へ向上
 - ・家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化による観光需要の平準化

8. 滞在環境

ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現



世界最高水準の技術活用により出入国審査の風景を一変させるほか、ストレスフリーな通信・交通利用環境、キャッシュレス観光、ユニバーサルデザインなどを実現。

9. 地方交流

「地方創生回廊」を完備し、全国どこへでも快適な旅行を実現

— 隅から隅まで日本の旅を楽しめるように —



「ジャポン・レールパス」を訪日後でも購入可能化。また、新幹線開業やコンセッション空港運営等と連動した、観光地へのアクセス交通の充実を実現。



北海道新幹線の開業



複数空港の一体運営（新千歳）

10. 休暇

「働きかた」と「休みかた」を改革し、躍動感あふれる社会を実現

— 国民一人ひとりが「仕事も」「休日も」楽しめるように —



2020年までに、年次有給休暇取得率70%に向上。また、家族が休暇をとりやすい制度の導入、休暇取得の分散化による観光需要の平準化などを推進。

家族の時間づくり（熊本県人吉市）

地域の伝統的な祭り開催日に、市内の全小・中学校を休業日とし、地元企業への有給休暇取得を働きかけ。



おくんち祭り



地域協議会の様子

観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議の設置



設置の背景

- 今後我が国の観光資源の魅力を高めていくためには、中長期的な視点に立った観光地域づくりを行っていく必要があるが、そのためには各地域においても関係省庁を含む多数の関係者との連携・調整を行うことが不可欠である。
- このため、既存の中部ブロック連絡会を発展的に改組し、平成29年4月19日に「観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議」を設置。

戦略会議の実施体制

観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議

- ・ 中部運輸局 ・ 中部地方整備局 ・ 大阪航空局
- ・ 東海農政局 ・ 中部経済産業局 ・ 東海総合通信局 ・ 中部地方環境事務所
- ・ 愛知県 ・ 静岡県 ・ 岐阜県 ・ 三重県 ・ 福井県
- ・ 名古屋市 ・ 静岡市 ・ 浜松市
- ・ (公社) 日本観光振興協会中部支部
- ・ (一社) 中央日本総合観光機構
- ・ 東海商工会議所連合会 ・ (一社) 中部経済連合会
- ・ (一社) 日本ホテル協会中部支部、神静山梨支部
- ・ (一社) 全日本シティホテル連盟中部支部
- ・ (一社) 日本旅館協会中部支部連合会
- ・ (一社) 日本旅行業協会中部支部
- ・ (一社) 全国旅行業協会東海地方支部長連絡会
- ・ 中部鉄道協会 ・ 中部バス協会 ・ 中部タクシー協会連合会
- ・ 東海北陸旅客船協会 ・ 東海旅客鉄道(株) ・ セントレアAOC
- ・ 名古屋港管理組合 ・ 四日市港管理組合 ・ 中部国際空港(株)
- ・ 名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議 ・ 清水港客船誘致委員会
- ・ (独) 日本貿易振興機構名古屋貿易情報センター
- ・ (独) 国際観光振興機構(オブザーバー)

構成員

事務局

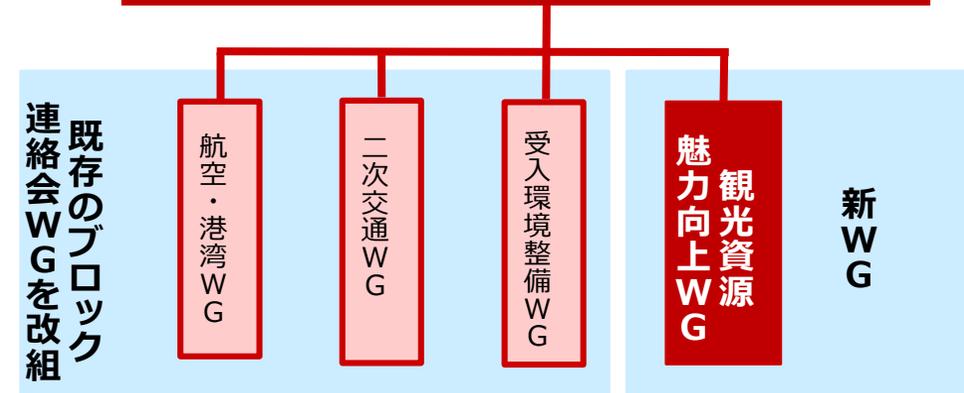
中部運輸局及び中部地方整備局

開催頻度

- 親会 年1回程度
- WG 年2～3回程度

観光資源魅力向上WGの新設

観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議



- 観光資源魅力向上WGでは、観光ビジョン掲載施策の具体化の推進のために、必要な課題を議論する。

○ 検討課題の例

- ・ 国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化
- ・ 景観の優れた観光資源の保全・活用による観光地の魅力向上
- ・ 滞在型農山漁村の確立・形成
- ・ 伝統工芸品の消費拡大
- ・ 通信環境の飛躍的向上 等

訪日外国人旅行者の受入環境整備

◆ 東京観光情報センター（バスタ新宿3F）

◆ 京王モール（新宿駅地下）



- ・観光案内には多数のタブレットを設置
- ・交通チケット等発券カウンター、外貨両替所、手ぶら観光カウンターを併設

- ・中部地方インフォメーションプラザの他に、手ぶら観光カウンター、外貨両替所を付近に設置

◆ 大丸心齋橋南館（2 F 観光案内所、交通チケット等発行、手ぶら観光カウンター）



JTB西日本運営の観光案内所
(交通チケット等も取扱)



ヤマト運輸運営の手ぶら観光カウンター

Advertisement for temporary luggage storage and shipping services. It lists rates for temporary storage (500 yen per item), same-day transport (1000 yen per item), and express shipping (domestic).

暂时寄放行李
每件 **500** 日元
暂时寄放行李 每件500日元
手荷物一磅前かり 400< 500円

当天运送(大阪市内)
每件 **1000** 日元
当天运送(大阪市内) 每件1000日元
当天运送(大阪市内) 每件1000日元
当天运送(大阪市内) 每件1000日元

快递(日本国内)
速遞(日本国内)
国内宅配

关西旅游信息中心大丸心齋橋南館
Kansai Tourist Information Center Daikoku Shinjyohji South Building
地址: 大阪府大阪市心齋橋南1-1-1 大丸心齋橋南館1F
营业时间: 10:30am - 6:00pm

◆ 大丸心齋橋南館（4 F 免税一括カウンター）

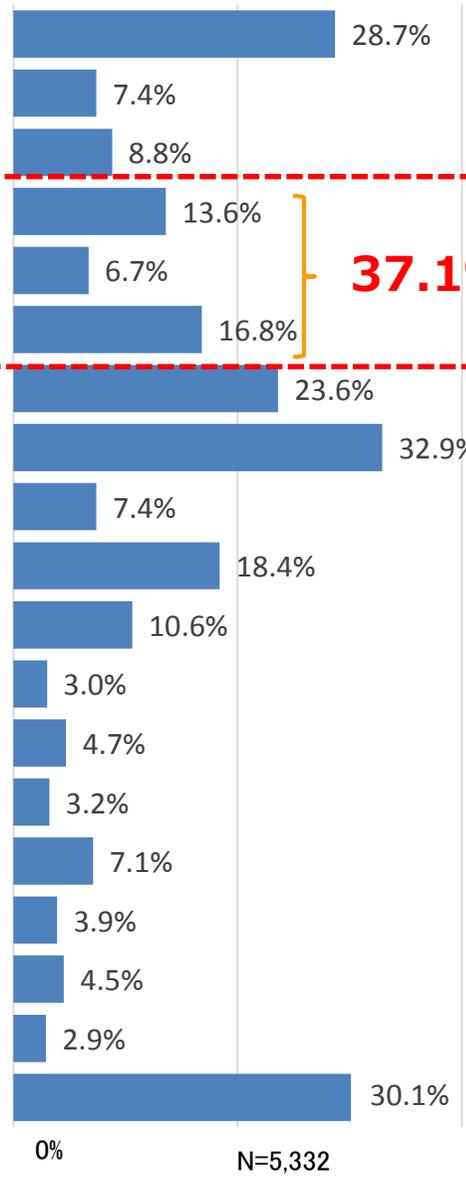


大丸百貨店と心齋橋筋商店街の手続委託型の消費税免税一括カウンター

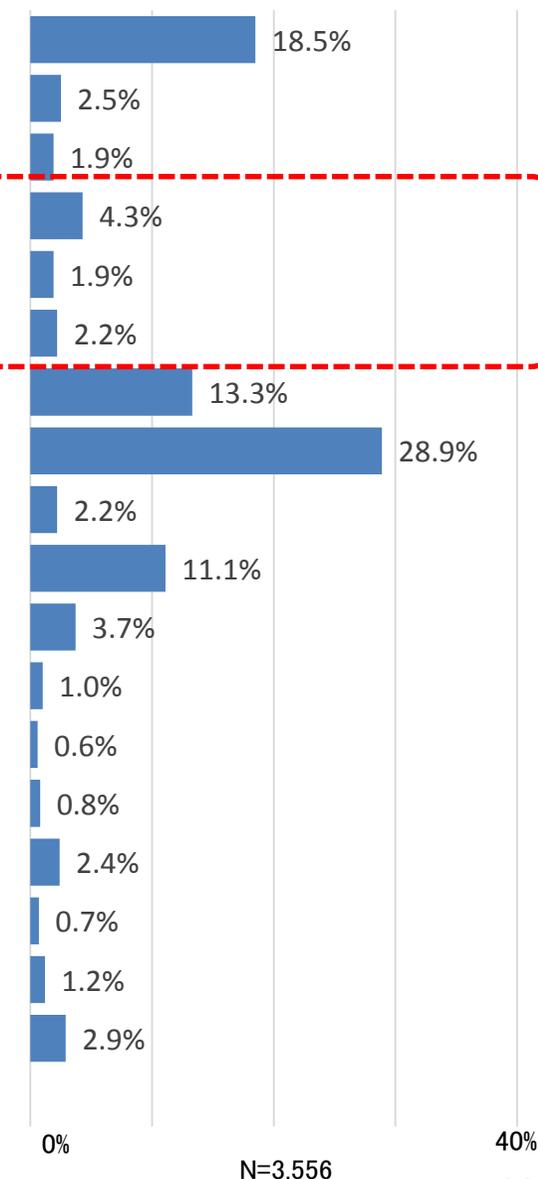
旅行中に困った事

無料公衆無線LAN環境
SIMカードの購入
モバイルWi-Fiルーターのレンタル
クレジット／デビットカードの利用
ATMの利用
両替
多言語表示の少なさ・わかりにくさ（観光案内板・地図等）
施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない
入国手続き
公共交通の利用
鉄道の割引きっぷ
災害、けが・病気の際の医療機関、海外旅行保険
観光案内所の利用や観光地での案内
宿泊施設や空港などへの荷物の配送サービス
飲食店、宿泊施設の情報の入手・予約
観光地におけるツアー、旅行商品（情報入手、種類等）
トイレの利用・場所・設備
その他
特に困ったことはなかった

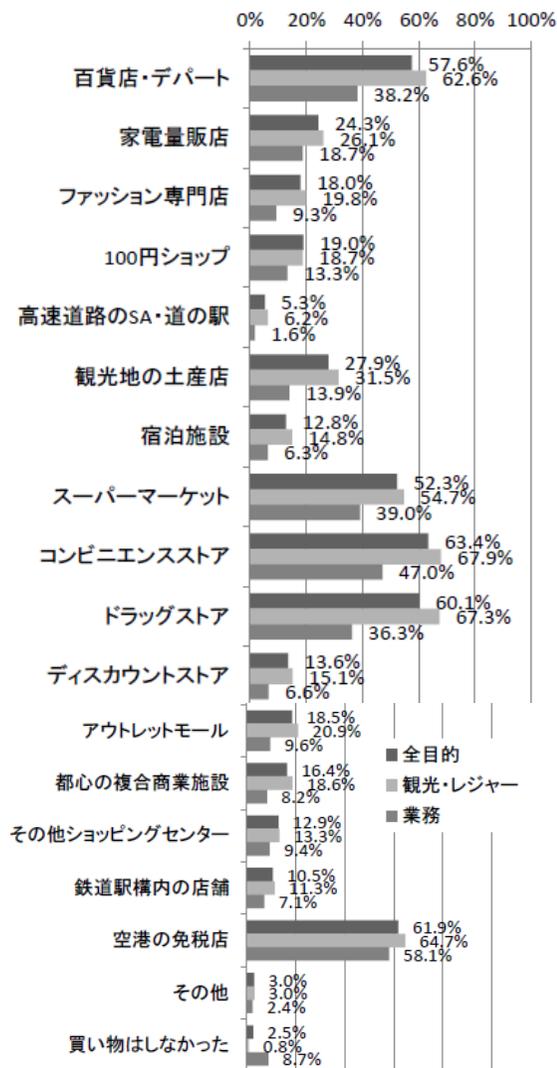
旅行中困ったこと(複数回答)



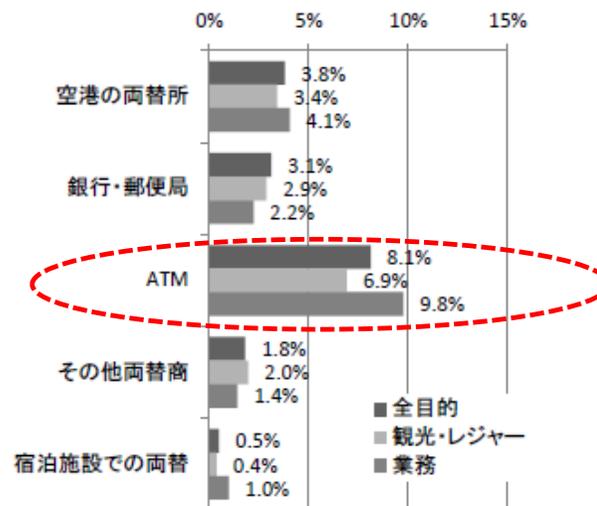
旅行中最も困ったこと(単回答)



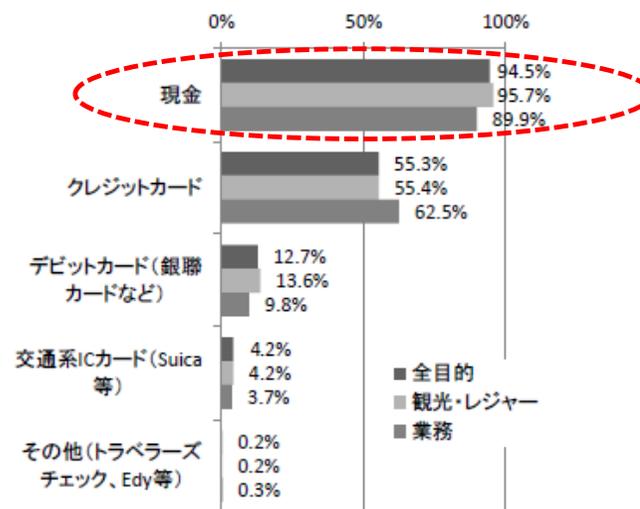
図表 3-3 買物場所
(全国籍・地域、来訪目的別、複数回答)



図表 3-4 利用した金融機関
(全国籍・地域、来訪目的別、複数回答)



図表 3-5 利用した決済方法
(全国籍・地域、来訪目的別、複数回答)



【飛騨信用組合本町サテライト出張所】

(一社) 飛騨・高山観光コンベンション協会の観光案内所内に、12種類の通貨に対応した外貨両替機を設置



【セントレア】

アクセスプラザに、電子マネー（WAON、楽天Edy、Amazonギフト券、LINEギフトコード、WeChat（微信）等）などに交換できるポケットチェンジを設置





WeChat Pay

業態	企業名
百貨店	東急百貨店 近鉄百貨店 大丸松坂屋 そごう・西武 高島屋 東武百貨店
コンビニ	ローソン セブンイレブン ファミリーマート
家電量販店	ビックカメラ ヤマダ電機 エディオン
ドラッグストア・ディスカウントストア	ドン・キホーテ キリン堂 杏林堂
空港	関西国際空港 成田国際空港 羽田空港 中部国際空港
アパレル・日用雑貨	無印良品 ユニクロ
旅行	JTB 日本ビューホテル

業態	企業名
百貨店	東急百貨店 高島屋 大丸松坂屋
小売店	ドン・キホーテ イオン
ドラッグストア	キリン堂
空港	成田空港 羽田空港
飲食	コロワイド(甘太郎) ぐるなび
タクシー	日本交通



日本交通のスマホ決済の様子
アリペイ、ウィーチャットペイに対応
(「トラベルボイス」より引用)

参考（H30年度観光庁予算）

訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業

9,632百万円
うち国際観光旅客税(仮称)財源充当額
1,100百万円

◆ ICT等を活用した多言語化・観光地の魅力向上

■観光案内所



観光案内所
新設・改修等



VR(仮想現実)体験



スタッフ研修費



デジタル
サイネージ
多言語表記 等

大型モニターを使った
観光案内

■観光拠点情報・交流施設



多言語表記・展示室



受入ノウハウに関する
セミナーの開催
等

各地域における
ムスリム受
入体制支援



体験・学習スペース
等

※一部のメニューについてはカテゴリー「案内所も対象」

■多言語化



ICTを活用した分かりやすい案内板

■タブレット端末の整備



多言語案内用タブレット端末の整備

■車両等を含めた無料公衆無線LAN環境の整備



車内Wi-Fi



駅構内Wi-Fi

◆ 滞在時の快適性の向上

■公衆トイレの整備(洋式化・機能向上)



公衆トイレの洋式化

※建替・新築の場合についても洋式便器整備等を支援対象に追加

■旅館・ホテル



無料公衆無線LAN
環境整備



タブレット端末の
整備

■手ぶら観光



◆ 観光地までの移動円滑化

■全国共通ICカードの導入



■バスロケーションシステムの設置



■インバウンド対応型車両



■車内等を含めた洋式トイレの整備

■鉄道駅・バスターミナル等における移動円滑化

概要	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 観光促進のための税として、国際観光旅客税（仮称）を創設し、平成31年1月7日以後の出国旅客に定額・一律（1,000円）の負担を求めることにより、高次元の観光施策のための財源を確保。 ➤ 2020年訪日外国人客4,000万人目標等に向けて、①ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備、②我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化、③地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度の向上に資する施策に財源を充当。
納税義務者	航空機又は船舶により出国する旅客
非課税等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空機又は船舶の乗員 ・ 強制退去等 ・ 公用機又は公用船（政府専用機等）により出国する者 ・ 乗継旅客（入国後24時間以内に出国する者） ・ 外国間を航行中に、天候その他の理由により本邦に緊急着陸等した者 ・ 本邦から出国したが、天候その他の理由により本邦に帰ってきた者 ・ 2歳未満の者 <p>（注）本邦に派遣された外交官等の一定の出国については、本税を課さないこととする。</p>
税率	出国1回につき1,000円
徴収・納付	<ul style="list-style-type: none"> ① 国際運送事業を営む者による特別徴収（国際運送事業を営む者の運送による出国の場合） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 国際運送事業を営む者は、旅客から徴収し、翌々月末までに国に納付 ② 旅客による納付（プライベートジェット等による出国の場合） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 旅客は、航空機等に搭乗等する時までに国に納付
適用時期	平成31年1月7日(月)以後の出国に適用 （同日前に締結された運送契約による国際運送事業に係る一定の出国を除く）

国際観光旅客税（仮称）の使途に関する基本方針等（H29.12.22観光立国推進閣僚会議決定）を踏まえ、

- ① **ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備**
- ② **我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化**
- ③ **地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上の3つの分野に国際観光旅客税（仮称）の税収を充当するため、「外国人観光旅客の旅行の容易化等の促進による国際観光の振興に関する法律の一部を改正する法律案」をH30通常国会に提出予定**

（参考）平成30年度予算

平成31年1月7日からの徴収で総額60億円の歳入見込み。特に新規性・緊急性の高い施策や日本人旅行者にもメリットが感じられるCIQ体制の整備に充てることにより、受益と負担の関係を明確化。

① **ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備**

(1) **円滑な出入国に対する環境整備**

- ・顔認証ゲート等の最新技術を活用したCIQ体制の整備

(2) **ICT等を活用した多言語化対応**

- ・駅などで多言語案内タブレットを用いて外国人観光客を案内
- ・ムスリムの観光客に対する受入体制の強化 等

(3) **日本人海外旅行者の安全の確保**

- ・旅行安全情報等に関する共有情報プラットフォームの機能強化



最新技術を用いた円滑な
出入国環境の整備



多言語案内用
タブレット端末



ムスリムの外客に
配慮した受入体制

② **我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化**

- ・政府観光局サイト等を活用したデジタルマーケティングの実践
（グローバルキャンペーンを始めとするプロモーションについて、国やターゲット層に応じた精緻な展開が可能）



③ **観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上**

- ・文化財や国立公園等に対する多言語解説の整備
- ・訪日観光における新たな観光コンテンツの拡充
- ・VR等の最新技術を駆使した最先端観光の育成



多言語解説の整備



VR/ARの活用